

石渡高雄氏が岩手県林業経営推奨行事で優秀賞を受賞！

1 優良な林業経営者として表彰

森林所有者の経営意欲の向上を図ることを目的に、優良な林業経営者を表彰する「令和6年度岩手県林業経営推奨行事」において、長年の林業経営の取組が評価され、石渡高雄氏（久慈市山形町、77歳）が優秀賞を受賞し、令和7年6月12日に開催された第71回岩手県林業改良普及協会通常総会で表彰されました。

2 石渡氏の林業経営について

所有森林面積は108.63haで、人工林率は県平均を上回る51%です。

所有林のうち、約5割を占める針葉樹林（54ha）は長伐期を含む経済林として、約4割の広葉樹林（46ha）は短伐期の木炭等の原木林として用途別に目標林型を設定するなど、樹種ごとに施業目標を明確に設定しており、地域の模範となる林業経営に取り組んでいます。

針葉樹は県行造林及び公団造林と分収契約し、カラマツ、スギを中心に経済林として整備しつつ、人工林率51%を維持しています。

広葉樹は30年サイクルで伐採・更新し、自ら行う木炭生産で林業収入を計上しつつ、需要に応じてカラマツ等の用材生産を行うなど、収益性を確保した持続可能な森林経営を実践しています。

所有林内に自力で開設した作業道と、岩手県と分収造林契約している県行造林等開設している作業道を合計した林内路網密度は72m/haと地域の平均（25m/ha）を大きく上回り、搬出効率の向上に寄与しています。

「地形を見ながら、自分の考えで作業道を作るのが楽しい。」と話す姿が印象的でした。

3 令和7年度全国林業経営推奨行事へ推薦

今回の岩手県林業経営推奨行事での受賞を経て、(公社)大日本山林会主催の全国林業経営推奨行事に推薦されました。

また、10月中旬には同行事参加者の経営内容をまとめた出版物「選ばれた林業経営」が発行される予定ですので、ぜひご覧ください。



石渡高雄氏



大径材育成を目指すスギ林



所有機械による作業道作設